

## 平成30年度11月補正予算案のポイント

**台風災害への対応や国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の総合開閉会式会場決定、国補正予算の成立など9月定例会後の状況変化に対応する補正予算を編成**

### 《主な内容》

#### 台風21号・台風24号等による災害への対応

- ・土石流発生箇所での砂防堰堤等の整備や河川・道路等の災害復旧を迅速に実施

#### 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向けた準備

- ・総合開閉会式及び陸上競技の会場となる松本平広域公園陸上競技場の整備方法等の検討に着手

#### 医療機関の機能分担・連携強化の推進

- ・10の医療圏域ごとの取組を進めるため、県レベルの課題を検討する長野県地域医療構想調整会議（仮称）を開催

#### 長野県議会議員選挙の準備

- ・2019年4月執行予定の県議会議員一般選挙に向けて準備を実施

#### 県立学校の空調設備整備の推進

- ・9月補正予算で整備計画を示した県立学校のエアコン設置を着実に推進
- ・国補正予算を活用し、特別支援学校5校、中学校1校の設計・工事を前倒し
- ・高等学校のPTAが設置した空調設備のリース料を2019年1月から県が負担

### 《補正予算額》

一般会計	27億9234万4千円
(債務負担行為)	137億2334万6千円
電気事業会計 (債務負担行為)	3億8060万円

**台風21号・台風24号等による災害への対応 15億1223万3千円**

〈建設部、林務部〉

**(債務負担行為 5億539万1千円)**

土石流発生箇所での砂防堰堤等の整備や河川・道路等の災害復旧を迅速に実施

- ・補助公共事業費:8億5800万円
- ・災害復旧事業費:4億8773万3千円 (債務負担行為 5億539万1千円)
- ・直轄事業負担金:1億6650万円

**国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向けた準備**

〈建設部〉

**(債務負担行為 4200万円)**

2027年開催予定の第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会の総合開閉会式及び陸上競技の会場となる松本平広域公園陸上競技場の整備方法等の検討に着手

**医療機関の機能分担・連携強化の推進 54万6千円**

〈健康福祉部〉

10の医療圏域ごとの取組を進めるため、県レベルの課題を検討する長野県地域医療構想調整会議(仮称)を開催

- ・将来の医療提供体制構築に関する方向性の検討
- ・地域医療構想アドバイザーによる専門的見地からの論点提示・助言

**長野県議会議員選挙の準備 3億675万5千円**

〈企画振興部〉

2019年4月執行予定の県議会議員一般選挙に向けて、本年度中に必要な準備を実施

**県立学校の空調設備整備の推進 9億5248万4千円**

〈教育委員会〉

**(債務負担行為 10億5241万6千円)**

9月補正予算で整備計画を示した県立学校のエアコン設置を着実に推進

《特別支援学校、中学校》

- ・国補正予算を活用し、すべての学校の工事費を予算計上(一部整備を2019年中に前倒し)

《高等学校》

- ・2019年夏までに整備する25校の工事費について債務負担行為を設定
- ・PTAが設置した空調設備のリース料(6校)を2019年1月から県が負担

県立学校 整備完了時期	特別支援学校 (18校)	中学校 (2校)	高等学校 (82校)
2019年夏	13校	1校	25校
2019年中	5校 ※全体の工程を工夫し、整備を前倒し	1校	—
2020年夏	—	—	57校

〔成果目標 県立学校の普通教室のエアコン設置率:100%(2020年)〕

**G20関係閣僚会合開催に伴う警備 2032万6千円**

〈警察本部〉

**(債務負担行為 2255万5千円)**

2019年6月に軽井沢町で開催されるG20関係閣僚会合の警備の万全を期するため必要なカメラシステムを整備するとともに、会場周辺の渋滞解消のため信号機を改良

- ・可搬式ネットワーク型カメラシステム一式
- ・信号機の集中感応化(2基)

**新規電源開発の推進 (債務負担行為 3億8060万円)**

〈企業局〉

未利用エネルギーの活用拡大に向け、既存発電所の冷却水配管を利用し新たな発電機を設置

- ・小渋第2発電所の冷却水配管に発電機を設置  
〔成果目標 企業局の電力量で賄える県内世帯数の割合:12.6%(2025年度)〕

**消防防災航空体制の再構築に向けた取組 (債務負担行為 7億135万円)**

〈危機管理部〉

新機体の本格運航開始までの間、引き続きヘリコプターの借上や運航業務委託を実施

**社会資本整備の前倒し (債務負担行為 27億8490万円)**

〈建設部、警察本部〉

道路区画線の補修、橋梁補修、道路改築等を前倒して発注し、春夏シーズン前の観光地、第36回全国都市緑化信州フェアやG20関係閣僚会合の会場等へのアクセスを向上

- ・補助公共事業費:12億3850万円
- ・県単独公共事業費:13億9640万円
- ・交通安全施設整備事業費:1億5000万円

**指定管理者による施設管理費**

〈県民文化部、健康福祉部、建設部〉

**(債務負担行為 85億9568万円)**

県有10施設の管理費用について、債務負担行為を設定

- ・文化会館、障がい者福祉施設、都市公園 等